

セルフスター装備などの機能を充実させた
ヤマハトレール『DT125R』
発売について

1991年4月

ヤマハ発動機株式会社

本社広報室・〒438 静岡県磐田市新貝2500
東京広報課・〒104 東京都中央区銀座

TEL.0538 FAX.0538
TEL.03 FAX.03

B'Harmony

人とバイクの友好生活

当社では、セルフスターター装備の水冷・2サイクル・クランク室リードバルブエンジンを、高剛性セミダブルクレードルフレームに搭載し、スポーツライディングを楽しめる機能を充実させたニューモデル、ヤマハトレール『DT125R』を5月8日より新発売いたします。

『DT125R』は、'88年5月発売の現行「DT125R」の後継機種として開発にあたったモデルで、現行モデルの優れた特徴をそのままに①セル／キック併用スターター、②45W／45Wハロゲンヘッドライト、③タコメーター、水温計、④ファッショナブルなカラーリング、などの採用で一層の商品性を高めている点が特徴です。

記

名 称： ヤマハトレール『DT125R』

発 売 日： 1991年5月8日

メーカー希望小売価格： 334,000円

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には、保険料、税金(含消費税)、登録に伴う
諸費用は含まれません。

カラーリング： パープリッシュホワイトソリッド1

ディープバイオレットソリッド1

販 売 計 画： 3,000台(年間、国内)

開 発 の 狙 い

ピュア・オフロードモデルとして長年ユーザーから強い支持を得ているDTシリーズの中で、『DT125R』は'85年の市場導入以来、モトクロッサー「YZ」イメージを踏襲する性能、車格、スタイルなどが市場で受け入れられ、安定した販売台数を示してきました。

125ccのオフロード市場は、各社からの新種モデル投入もあり、ここ数年堅調な推移をみせています。それは125ccならではの乗りこなす楽しさや扱い易いパフォーマンス、手頃な価格といった魅力が支持を得ているからと言えましょう。その結果このクラスは、幅広いユーザー層と多様な使用用途が特徴となっています。

つまり、125ccオフロードクラスは、エンデューロ等での高性能が求められる2サイクル・200ccオフロードモデルとは対照的に、本格志向傾向、スポーティーなファンライディング志向傾向、手頃な価格や扱い易さを求める傾向などと、多岐に渡るニーズが広がっています。

上記の背景の中で、125ccの排気量、具体的な使用実態を鑑み、単に200ccのスケールダウン版ではなく、実用性とスポーツ性をハイレベルで調和させた125ccトレールを提唱しようと開発にあたったのが『DT125R』です。

新 た な 特 徴

1. セル／キック併用スターターの採用

不整地での始動性アップを図るためセルフスターターを新採用。セル／キック併用式スターターとして扱い易さを向上させました。

2. 45／45Wハロゲンヘッドライトの採用

大容量45／45Wのハロゲンヘッドライトを新採用しています。

3. タコメーター、水温計の標準装備

タコメーター、水温計を標準装備しています。

4. ファッショナブルなカラーリングの採用

ファンライディングにふさわしいファッショナブルなカラーリングを採用しています。アーバントレンドを踏襲するゲレンデ感覚の“パープル”カラーと、ヤマハトレールのアイデンティティカラーの“ホワイト&マゼンダ”カラーの2バリエーションです。

5. リヤキャリアを標準装備

リヤキャリアを標準装備として実用性を高めています。

従来からの主な特徴

■パワーユニット関係

1. 水冷・2サイクル・クランク室リードバルブエンジン

搭載するパワーユニットは、水冷・2サイクル・クランク室リードバルブ・单気筒エンジン。最高出力は22ps／9,000rpm、最大トルクは1.9kg-m／7,500rpmを発揮します。

このエンジンには、定評のYPVS、YEISを装着。また、各ポートのセッティングからマフラー、サイレンサーの形状・容量設定に至るまで、吸・掃・排気系のすべてに最新技術を投入、優れた特性を実現しています。

さらに燃焼室形状の効率的設計で燃焼音を低減させた他、クランク軸受けまわりの改善によりクランクケースそのものの共振を抑え、メカノイズ低減を果たすなど、社会性を考慮した設計としています。

2. 高速遅角型の電子進角式CDIの採用

点火方式は高速遅角型電子進角式CDI点火システムを採用しています。エンジンが要求する進角特性に対し理想的に応答し、始動性、ピックアップ特性の向上とともに、とくに中高速域での性能向上に寄与しています。

3. 信頼の水冷システム

暖機時間短縮、オーバークール防止を含めて安定した出力を生むことで定評のサーモスタット装備した水冷システムを採用しています。冷却水をケース内部よりシリンダー排気通路下へ通す方式とし、シリンダーの効率的な冷却性を確保しています。

4. エキゾーストパイプ、サイレンサー等

エキゾーストパイプは防錆効果に優れた3層ニッケルメッキを施したものと採用。マフラーは内壁にグラスウールを内張りしたものとし、またサイレンサーも静粛性に優れた多段膨張反転式です。これにより優れたエンジン特性に寄与しています。

5. 一軸バランサーの採用

エンジンには一軸バランサーを採用して快適な乗り心地を実現しています。剛性バランスに優れたフレームとのコンビネーションで振動を大幅に低減している点が特徴です。

■車体関係

1. セミダブルクレードルフレームの採用

フレームには剛性に優れた鋼管セミダブルクレードルタイプを採用しています。

2. 前後ともホイールトラベル250mmのサスペンション

フロントフォークはエア併用タイプ。インナーチューブ径は大径 $\phi 41\text{mm}$ として剛性を高め、ホイールトラベルも250mmを確保しています。アルミ製アンダーブラケットの採用と相まって、軽快なハンドリングと優れたクッション性能を発揮します。

リヤのクッションユニットには、YZタイプのニューモノクロスサスペンションを採用。こちらもホイールトラベル250mmを確保してオフロードランでの走行性を向上させています。剛性バランスに優れた大径角断

面のリヤアームとのコンビネーションで、優れた走破性を実現しています。

3. 前後にオフロード専用ディスクブレーキを採用

フロントの軽量タイプディスクローターは、 $\phi 230\text{mm}$ を採用。セミメタルパッド入りのキャリパーを組合せ、強力かつコントローラブルなストッピングパワーを発揮します。

リヤブレーキは、YZと同一サイズの $\phi 220\text{mm}$ のディスクローターとセミメタルパッド装着キャリパーを採用しています。

4. ライディングポジションの自由度を高めるフュエルタンクとシート

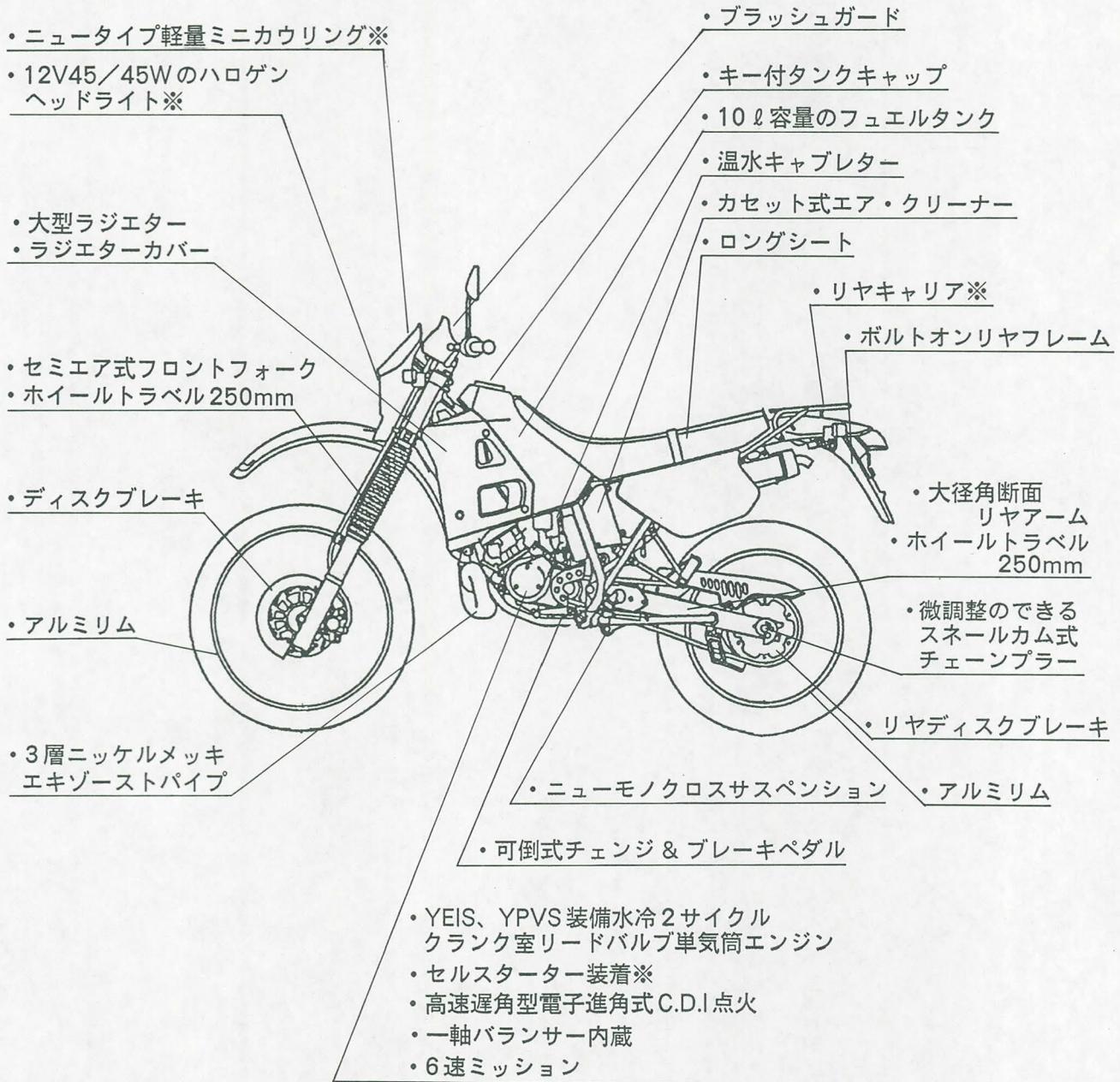
10 ℥容量のフュエルタンクと先端をタンク上面まで延長させたロングシートは、ライディングポジションの自由度を格段に広げています。ここにもモトクロッサー「YZ」シリーズでのノウハウが投入されています。

5. その他の親切設計、本格設計

その他、細部にわたる親切・本格設計を実施。サイドカバーのボルトを外さずに整備・交換のできるカセット式エアクリーナー、ボルトオンタイプのリヤフレーム、微調整のできるスネールカム式チェーンプレー等を採用しています。

ヤマハ『DT125R』フィーチャーマップ

※印はニューフィーチャー



ヤマハ「DT125R」仕様諸元表

名称及型式	名 称	ヤマハ DT125R	動力伝達装置 変速機	1 次 減 速 機 構	ギ ヤ	
	型 式	3 FW		同 上 減 速 比	71 / 22	3.227
寸法及重量	全 長	2145 mm		2 次 減 速 機 構	スプロケット	
	全 幅	840 mm		同 上 減 速 比	53 / 17	3.117
	全 高	1225 mm		ク ラ ッ チ 形 式	湿式多板	
	シ 一 ト 高	865 mm		形 式	常時噛合式前進6段	
	軸 間 距 離	1410 mm		操 作 方 法	左足動リターン式	
	最 低 地 上 高	290 mm		変 速 比 1 速	34 / 12	2.833
	乾 燥 重 量	110 kg		〃 2 速	26 / 14	1.857
性能	舗装平坦路燃費	58.0 km / ℥ (50 km / h)		〃 3 速	23 / 17	1.352
	最 小 回 転 半 径	2.1 m		〃 4 速	24 / 22	1.090
	制動停止距離	8.5 m (35 km / h)		〃 5 速	22 / 24	0.916
原動機	原動機種類	2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ		〃 6 速	20 / 25	0.800
	気筒数配列	単気筒		フレーム形式		
	総排気量	124 cc		鋼管セミダブルクレードル		
	内径 × 行程	56.4 mm × 50.0 mm		キャスター	27° 30'	
	圧縮比	6.8 : 1		トレール	113 mm	
	最高出力	22 ps / 9,000 rpm		走行装置	タイヤサイズ	前 2.75 - 21 - 4 PR 後 4.10 - 18 - 4 PR
	最大トルク	1.9 kg-m / 7,500 rpm			形 式	前 油圧式シングルディスク 後 油圧式シングルディスク
	始動方式	セル・キック併用式		制動装置	ブレーキ洞径 又は ディスク径	前 199 mm 後 189 mm
	潤滑方式	分離潤滑式			前 懸架方式	前 テレスコピック 後 スイングアーム
	オイル容量	1.2 ℥		装懸置架	緩衝方式	前 エア、オイルダンパー、コイルスプリング 後 ガス、オイルダンパー、コイルスプリング
	エレメント種類	湿式ウレタンフォーム			ホイールトラベル	前 250 mm 後 250 mm
燃料装置	燃料タンク容量	10 ℥	灯火及照明	ヘッドランプバルブ種類	バルブ着脱式(ハロゲン)	
	キャブレター型式	VM26SS		ヘッドライト	12V 45W / 45W	
	点火方式	CDI		テールランプ	12V 5W	
電気装置	点火プラグ型式	BR8ES、BR9ES W24ESR-U、W27ESR-U		ストップランプ	12V 21W	
	バッテリー容量	12V 6 Ah (10)		フラッシュランプ	12V 10W × 4	
	バッテリー型式	GM6-4B、FB6L-B		装メタ着	速度計、回転計、水温計	



ヤマハ『DT125R』